

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 命令表現の分布と場面差

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2020-06-29 キーワード: 作成者: 三井, はるみ メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002945">https://doi.org/10.15084/00002945</a>

# 命令表現の分布と場面差

三井はるみ<sup>1</sup> (研究開発部門第二領域)

## 1. 『方言文法全国地図 5』の命令表現

### 1.1 行為要求表現の中の命令表現

	《する》ように求める	《しない》ように求める
強制力《強》	命令	禁止
強制力《弱》(聞き手に決定権)	依頼	

### 1.2 GAJ5の行為要求表現項目の特徴

- (1) 命令形(オキロ, オキレ, オキヨ, オキー)や禁止形(イクナ)に直接対応する形式だけでなく、命令表現では、オキナサイ, オキナイカ, オキタラ(ドーダ), オキテ(ヨ), オキナキャダメダなど、禁止表現では、イッテワダメダ, イカナイデ, イカレナイなど、「命令」「禁止」の機能を担うさまざまな表現類型(およびそれらに対応する各地の方言形式)が、各地にどのように現れるかを見ようとした。この点、「もっぱら命令に用いられる最も単純な命令形式で、尊敬・丁寧・卑罵その他特別のニュアンスを含まないもの」をねらいとした、第2集の命令形項目と異なる。
  - (2) (1)と関連して、「命令《147, 148》」「依頼《149, 150》」では、質問文で具体的な共通語形を提示せず、設定した状況の中で使われる表現全体を求めた。この点、GAJの他の多くの項目と異なる。
  - (3) 「やさしく言うとき」「きびしく言うとき」という、二つの場面を設定した。ここでいう「場面」は、話し手、聞き手、要求の内容は一定で、話し手の聞き手への働きかけ方(発話態度)の違いによるものである。この点、第6集に収載予定の待遇表現項目における「場面」(主として聞き手および話題の人物の違いによる)とは異なる。
- 表現形式、表現類型のバリエーションの地理的分布を明らかにすることとともに、各地の方言において、発話態度に応じた話し手の聞き手への働きかけ方の違いが、どのような形式をとって現れるかを見るのがこの項目のねらい。
- ここでは、要求表現の地理的バリエーションを対象とする研究の広がり視野に入れながら、「命令」「禁止」項目を中心に、上記の点についての概観を行う。

### 1.3 質問文

【 】内は本報告での表現分野名, 《 》内は質問番号, ( )内は地図番号とタイトル

【命令表現】《147》朝いつまでも寝ている孫にむかって、起きるようにやさしく言うとき、どのように言いますか。(209~211図「起きろ(やさしく)」)

1 連絡先) mitharu@kokken.go.jp

《148》それでも起きないので、起きるようにきびしく言うとき、どのように言いますか。(212～214図「起きろ(きびしく)」)

【依頼表現】《149》部屋の空気が悪いので、孫にむかって、窓をあけるようにやさしく頼むとき、どのように言いますか。(215～217図「開けろ(やさしく)」)

《150》なかなかあけないので、窓をあけるようにきびしく言うとき、どのように言いますか。(218～220図「開けろ(きびしく)」)

【禁止表現】《151》孫にむかって、やさしく「そっちへ行くな」と言うとき、どのように言いますか。(221・222図「行くなよ(やさしく)」)

《152》孫にむかって、きびしく「そっちへ行くな」と言うとき、どのように言いますか。(223・224図「行くなよ(きびしく)」)

【命令形】《032》「ぐずぐずしないで早く起きろ」と言うときの「起きろ」のところは、地方によって、オキロ・オキレ・オキヨなど、いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。(第2集85図「起きろ」)

→ 設定された話し手と聞き手との関係(祖父と孫)、および表現内容から見て、命令表現、禁止表現とは言っても、絶対的なうむを言わせない強制ではなく、年少者に対する注意、指図、言い聞かせ、叱責といった意味合いの強い表現が回答として予想される。

## 2. 命令表現の分布の概観

命令表現のような対人的な働きかけにかかわる表現は、語彙や活用形、(推量表現などの)ことがらめあてのモダリティー表現などにくらべて、特定の場面をかぎっても、話者が選択しうる表現形式にはある程度の(場合によってはかなりの)幅があると考えられる。そのような選択の幅の中での偶然の現れという可能性を超えて、現れたバラエティーを地域差として把握しようとする場合には、形式の細部や微妙な地域差を問題とするよりも、まずは、表現の類型やある程度の地域的まとまりの認められる事象に目を向けるのが有効と思われる。以下このような観点から分布を見ていきたい。

### 2.1 「起きろ(命令形)」

全国諸方言に活用形としての命令形が存在することについては、第2集85図等でひとまず確かめられる。

共通語で上一段活用をとる動詞「起きる」の命令形は、東西対立分布を形成するものとしてよく知られている。第2集85図「起きろ(命令形)」によると、おおむね、新潟、長野、静岡(伊豆)以東にオキロ類、富山、岐阜、静岡(中西部)以西、九州の大分・宮崎にかけてオキヨ類が分布し、それより西南の九州から琉球にはふたたびオキロ・オキレ類が分布する。オキロ類がラ行五段活用化したオキレは、北海道、東北地方の日本海側から新潟にかけてと、九州西南部から琉球にかけての広い地域、および、中部地方のオキロ類とオキヨ類の接触地帯、紀伊半島、出雲などに分布する。さらに、オキヨ類の地域の中では、中部地方と近畿周辺部、四国西部にオキヨ、オキョーなど原型に近い形が見られ、近畿中央部から四国東部と中国地方にそこから変化したと見られる形オキーが分布する。

## 2.2 「起きろ（やさしく）」→ 図1・2

図1は《147》で得られた回答のうち、終助詞を除いた部分（命令の意味を担う中心的な部分）、図2はその後に続く終助詞の分布図である。

図1が「起きろ（命令形）」の分布ともっとも大きく違うのは、九州に動詞命令形（オキロ、オキレ、オキ一）がほとんど見られず、それに代わって全域で、オキンカ、オケンカ、オキランカなどの否定疑問形式が用いられている点である。また、北海道、および、東北の太平洋側以南、九州北部までにかけては、オキナサイ・オキナハレ、オキナ、オキラレ等、敬語形式の命令形が見られる。動詞命令形に着目すると、特に道南から東北北部にかけて、終助詞を用いない裸の命令形がまとまっている（図2も参照）。共通語などでは待遇的意味が低いために実際の場面では使いにくいとされる動詞の命令形が、「やさしく」という発話態度の場面でさえ使われる地域があるという点で注目される。その他の形式や類型は、地点数も少なくはっきりした分布は見られないが、オキタライイ・オキタラドーダ（勧め表現類）は、比較的東日本に多く、オキナケレバナラナイ（オキナキャダメ、オキナアカン、オキンバ等）は比較的西日本に多いと見ることができようか。終助詞については、東北北部と九州を除き、全国的にヨ（一）をはじめとした終助詞が付加されている。

## 2.3 「起きろ（きびしく）」→ 図3・4

「きびしく」場面の図3では、図1と異なり近畿地方を中心に広く否定疑問形式が分布する（琉球でも否定疑問形式が増加）。一方九州では否定疑問形式が多いものの、「やさしく」場面より動詞命令形（オキロ、オキレ、オキ一）が増えている。近畿と九州とでは、否定疑問形式の表す聞き手への働きかけの強さが異なるものと見られる。また、「やさしく」場面で多かった敬語形式の命令形はわずかとなり（その分関東と中国では動詞命令形が増加）、逆に卑罵形式の命令形オキヤガレが、少数（8地点）だが現れている（すべて東日本）。新潟では、動詞命令形の中でも、オキレが「やさしく」場面に、オキロが「きびしく」場面に現れる傾向がある。その他の形式や類型は、地点数も少なくはっきりした分布は見られないが、ナゼオキナインダ、イツマデネテルンダ（状況問いかけ類）は東日本に多く、オキナケレバナラナイは比較的西日本に多いと見られるかもしれない。終助詞については「やさしく」場面とくらべて終助詞の付加した形が激減している。終助詞の種類を見ると、「きびしく」場面では、少ない中に、「と言う」に由来すると見られる形式（ズ（一）、ッテバ、ツタラ、トユーノニ）が東日本で目立っている。なお、熊本などでは「やさしく」場面ではオキランカイ、「きびしく」場面ではオキランカのように、場面による疑問の終助詞の使い分けが顕著に見られる。

## 2.4 命令表現の場面差の地域差

以上のように、「やさしく」「きびしく」という発話態度の違いは、多くの地点で、なにかしらの言語形式の違いとして現れている。全調査地点807のうち、二つの場面がまったく同じ回答なのは69地点に過ぎない（ただし単用地点のみ集計。地点数が少ないので地域差と見られるかどうかかわからないが、69地点の中には北東北と南九州・琉球が多い）。

場面差は少なくとも、表現類型（ex. 否定疑問形式 ⇔ 動詞命令形）、敬語形式（ex. オ

活用形類

- オキロ
- ▣ オキレ
- ◐ オキリ
- ⊕ ウキル
- ⊖ ウキリ
- ▢ ウキレー
- オキヨ(一)
- オキヨ(一)
- オキ一
- オキ
- ◇ オオキ
- ⊙ オキユー
- オキル・オキルンダ

敬語類

- △ オキナサイ・オキナハレ
- ▽ オキナ
- ▲ オキラレ・オキライン
- ▲ オキラッセ・オキヤンセ
- ▲ オキサッシャイ
- ◇ オキマッシ・オキマイ

否定疑問類

- (オキナイ・オキン・オケン・オキラン・ウキラン・オキヤン) - 疑問終助詞
- Y -カ・ケ
  - 人 -ノカ
  - T -カイ
  - ↑ -ナ・ニ・ネ・ノ・ヤ・レ
  - ♀ -ジー・なし

依頼類

- + オキテクレ

勧め類

- ⊖ オキタライイ・オキタラドーダ

状況提示類

- / オキナケレバナラナイ
- \ オキナイトオクレル
- ⊖ オキルジカンダ

状況問いかけ類

- ⊗ イツマデネテルンダ
- ⊗ オキタカ

- \* その他
- \* 無回答

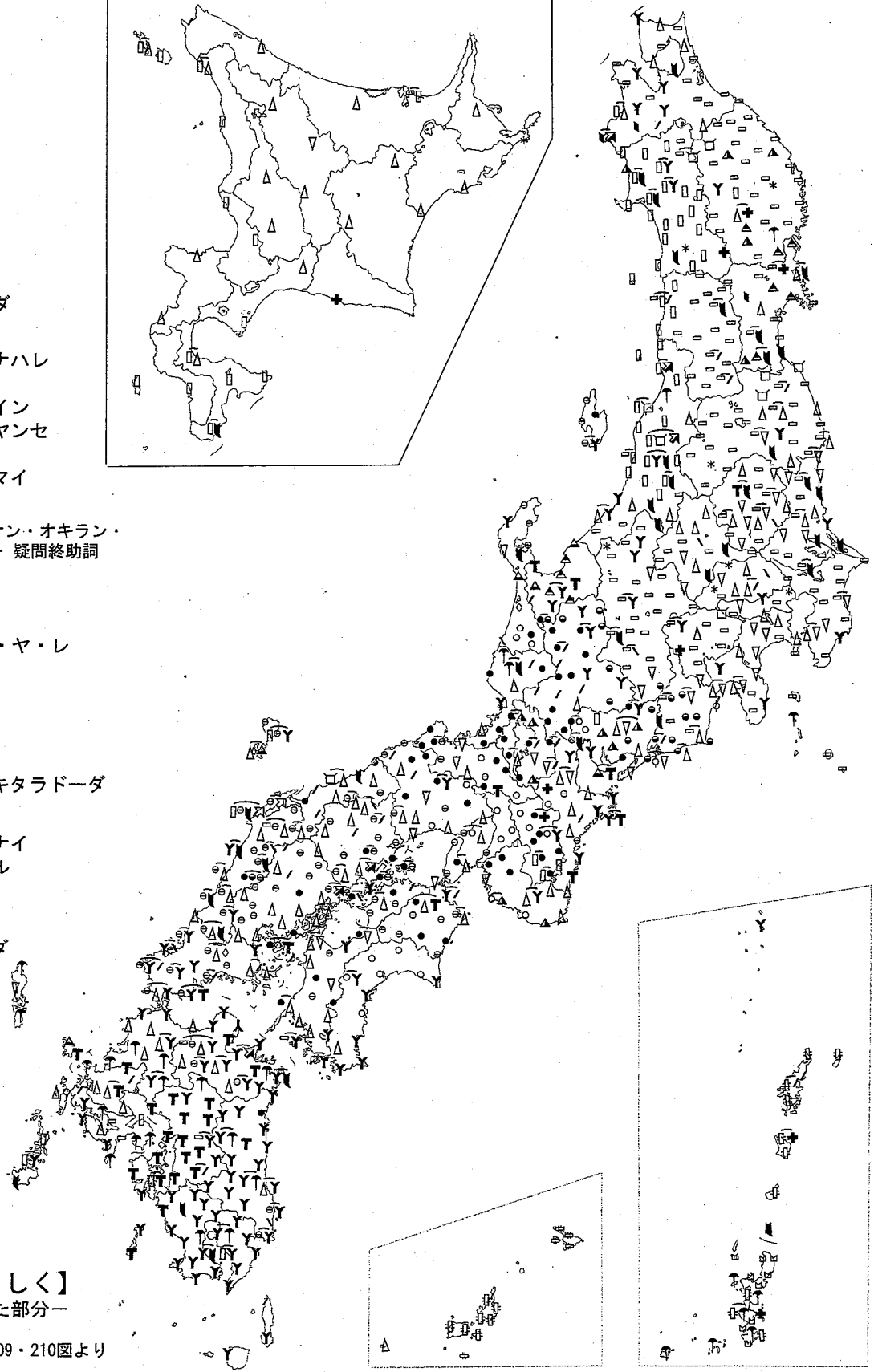
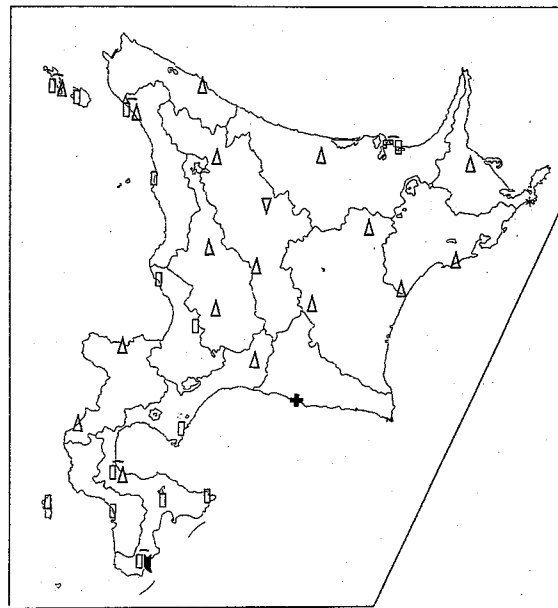


図1 起きろ【やさしく】  
—終助詞を除いた部分—

『方言文法全国地図5』209・210図より

- ヨ (-)
- ◎ ヤ (-)
- イ
- ㄩ ゼ (-)
- ㄨ デ (-) ・デア (-)
- ㄌ ソ (-)
- ㄲ ド (-) ・ロ (-)
- † ナ (-)
- ↑ ネ (-)
- ✕ ワ
- ㄹ ハ (-)
- ㅍ マ
- ㄱ ヨシ
- ㄷ チャ
- ㄴ ッテバ
- ㄷ ンダ
- ノ ジャナイカ
- \* その他
- 。 なし
- × 無回答

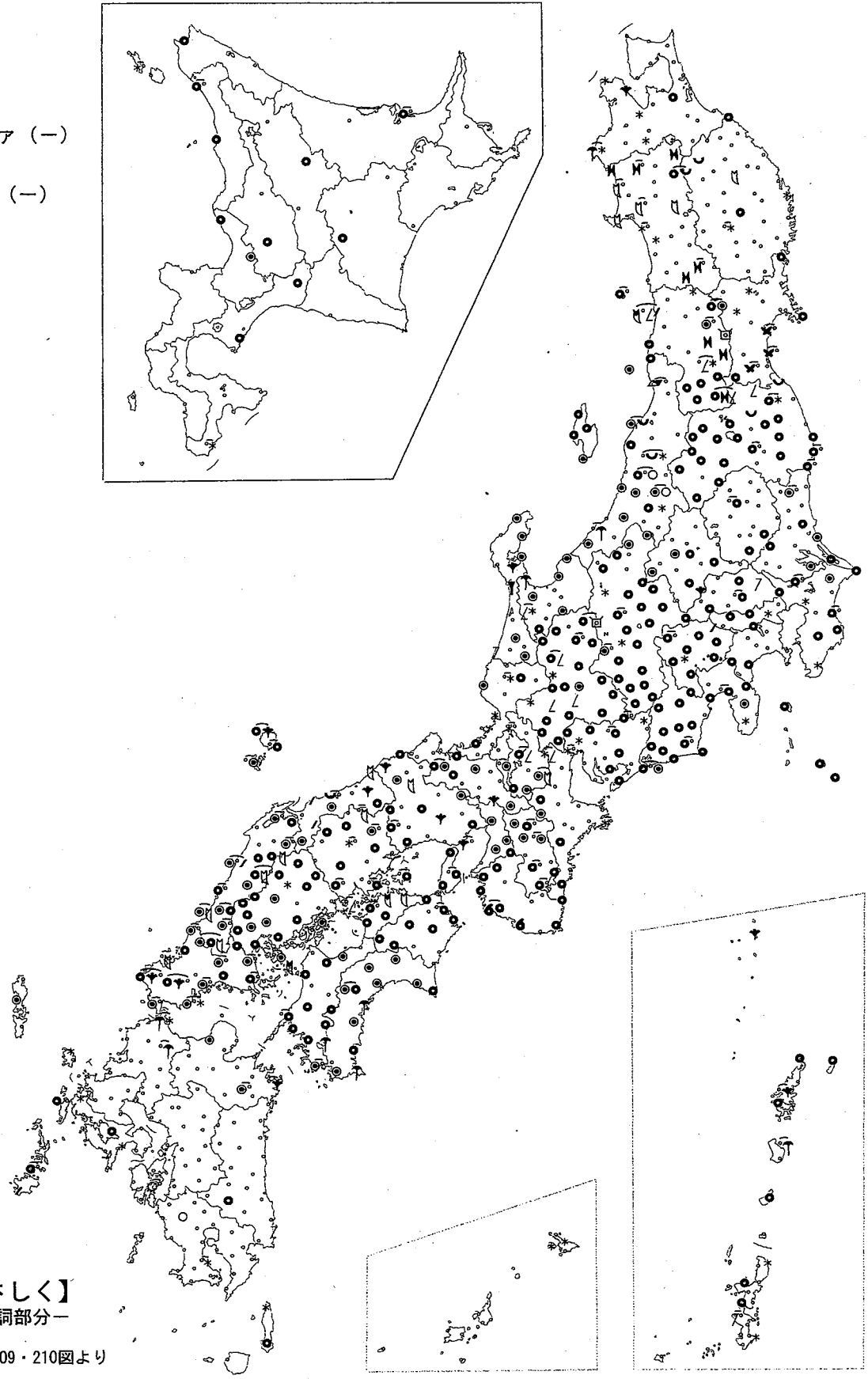


図2 起きろ【やさしく】  
—終助詞部分—

『方言文法全国地図5』209・210図より

活用形類

- オキロ
- オキレ
- ⊕ ウキル
- ⊕ ウキリ
- ⊕ ウキレー
- オキヨ(一)
- オキヨ(一)
- オキー
- オキ
- オキルンダ

敬語類

- △ オキナサイ・オキナハレ
- ▽ オキナ
- △ オキラレ・オキライン
- △ オキラッセ・オキヤンセ
- オキヤガレ

否定疑問類

- (オキナイ・オキン・オケン・オキラン・ウキラン・オキヤン)
- 疑問終助詞
  - Y ーカ・ケ
  - 人 ーノカ
  - T ーカイ
  - ↑ ーナ・ニ・ネ・ノ・ヤ・レ
  - ↑ ージー・なし
  - ✦ ウキランドウアル

依頼類

- ✦ オキテクレ

勧め類

- Y オキタライイ・オキタラドーダ

状況提示類

- / オキナケレバナラナイ
- \ オキナイトオクレル

状況問いかけ類

- ✦ ナゼオキナインダ
- ✦ イツマデネテルンダ
- オキタカ

- \* その他
- \* 無回答

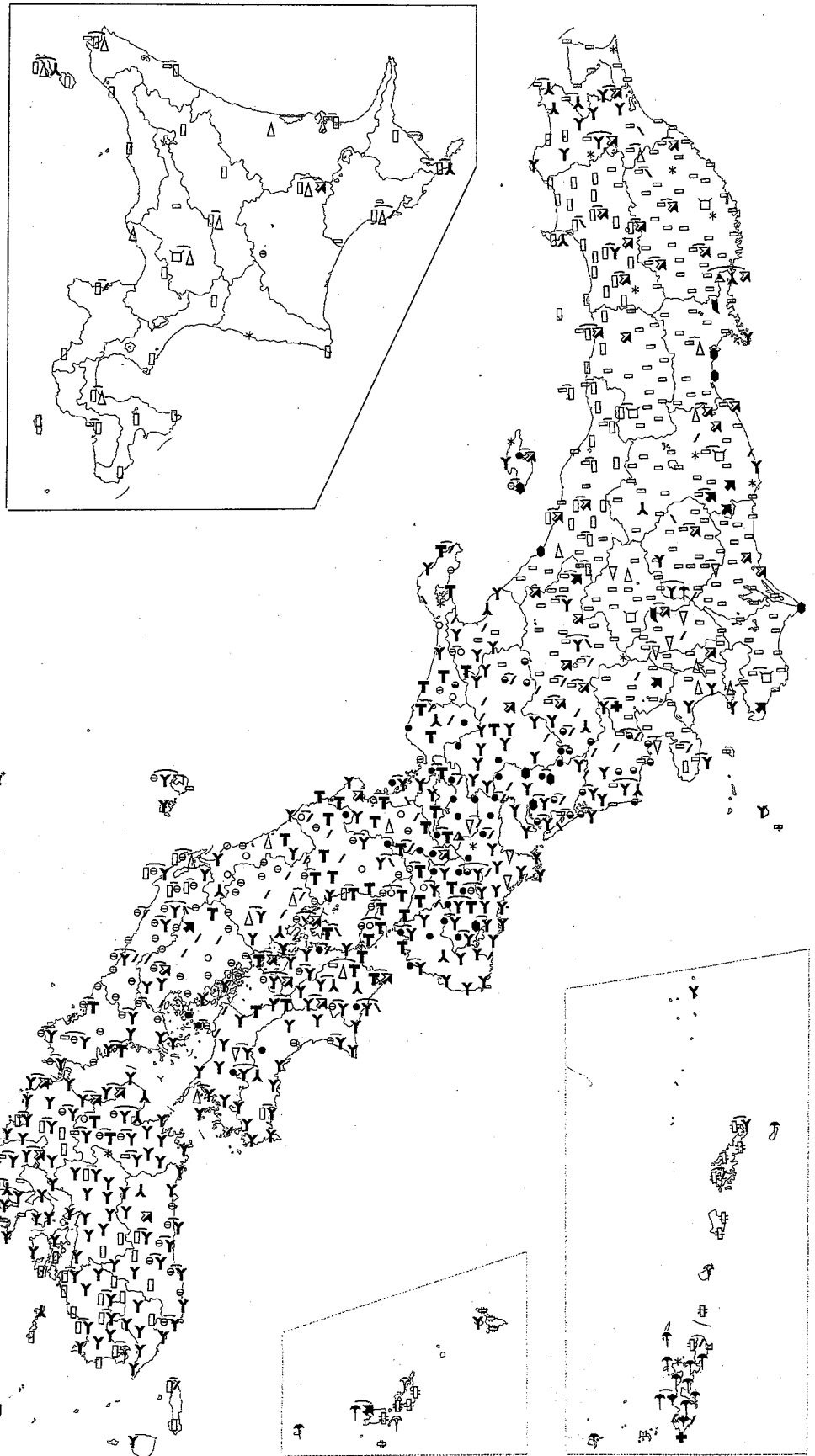


図3 起きろ【きびしく】  
— 終助詞を除いた部分 —

『方言文法全国地図5』212・213図より

- ヨ (一)
- ◎ ヤ (一)
- イ
- ㄩ ゼ (一)
- ㄷ デ (一) ・デア (一)
- ㄹ ゾ (一)
- ㄷㄹ ド (一) ・ロ (一)
- ㅃ ナ (一)
- ㅍ ハ (一)
- ㅍ 마
- ㅈ チャ
- ㅈ즈 (一)
- ㅊ ッテバ
- ㅊ ッタラ
- ㅊ 투ーノニ
- ㅇ ンダ
- ㅇ ジャナイカ
- \* その他
- 。 なし
- 。 無回答

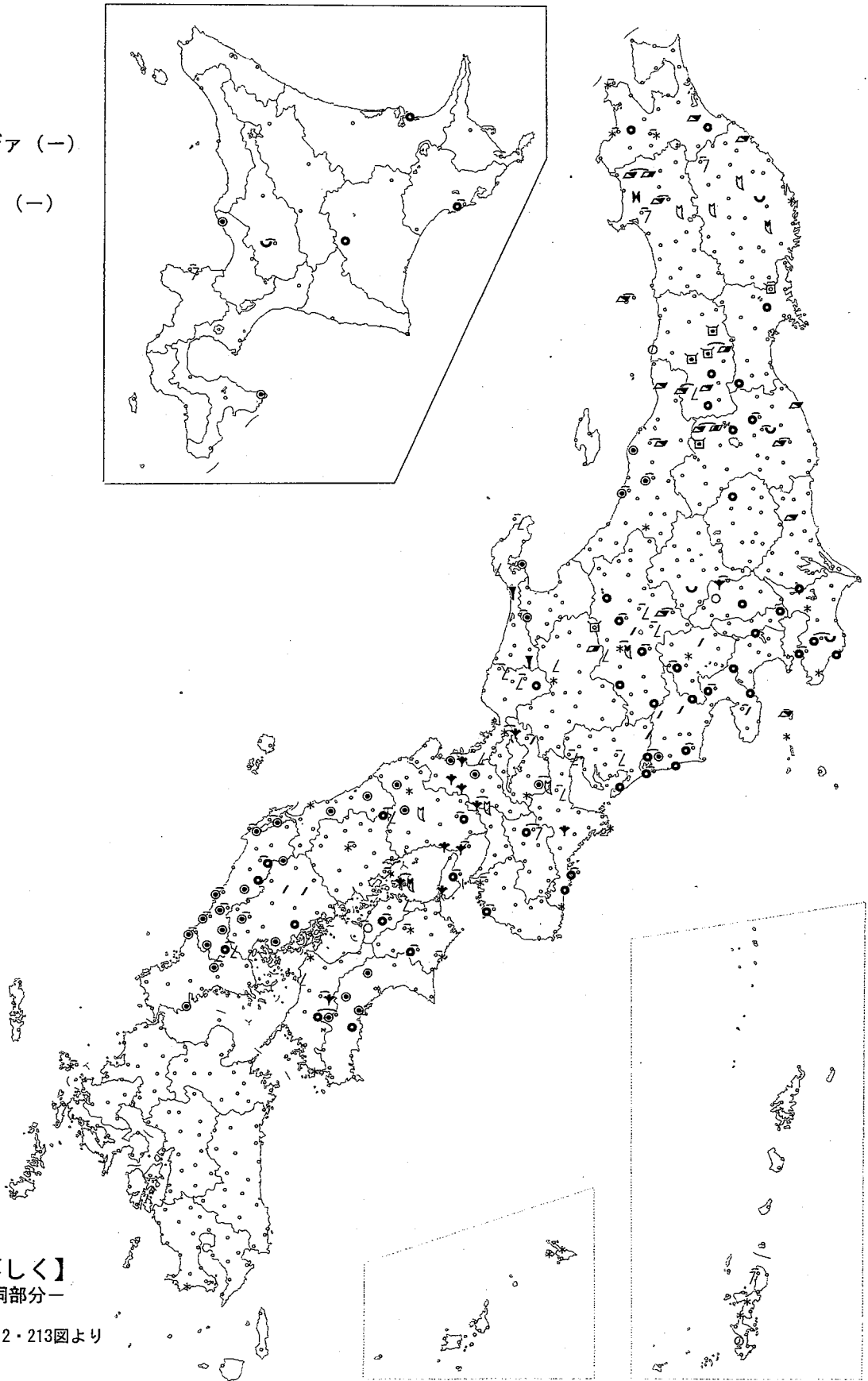


図4 起きろ【きびしく】  
—終助詞部分—

『方言文法全国地図5』212・213図より

- イクナ類
- イキナ類
- ◉ イキナサンナ類
- ♁ イッチョ類
- Υ イカナイデオケ類
- ⊤ イカナイヨーニシロ類
- ⊥ イカナイデクレ類
- ◊ イカナイ類
- ▽ イクマイ類
- ✱ イカレナイ類
- ♣ イクンジャナイ類
- ♠ イカナイホーガイイ類
- ∕ イッテワイケナイ類
- ∖ イクトアブナイ類
- \* その他
- ⊘ 無回答

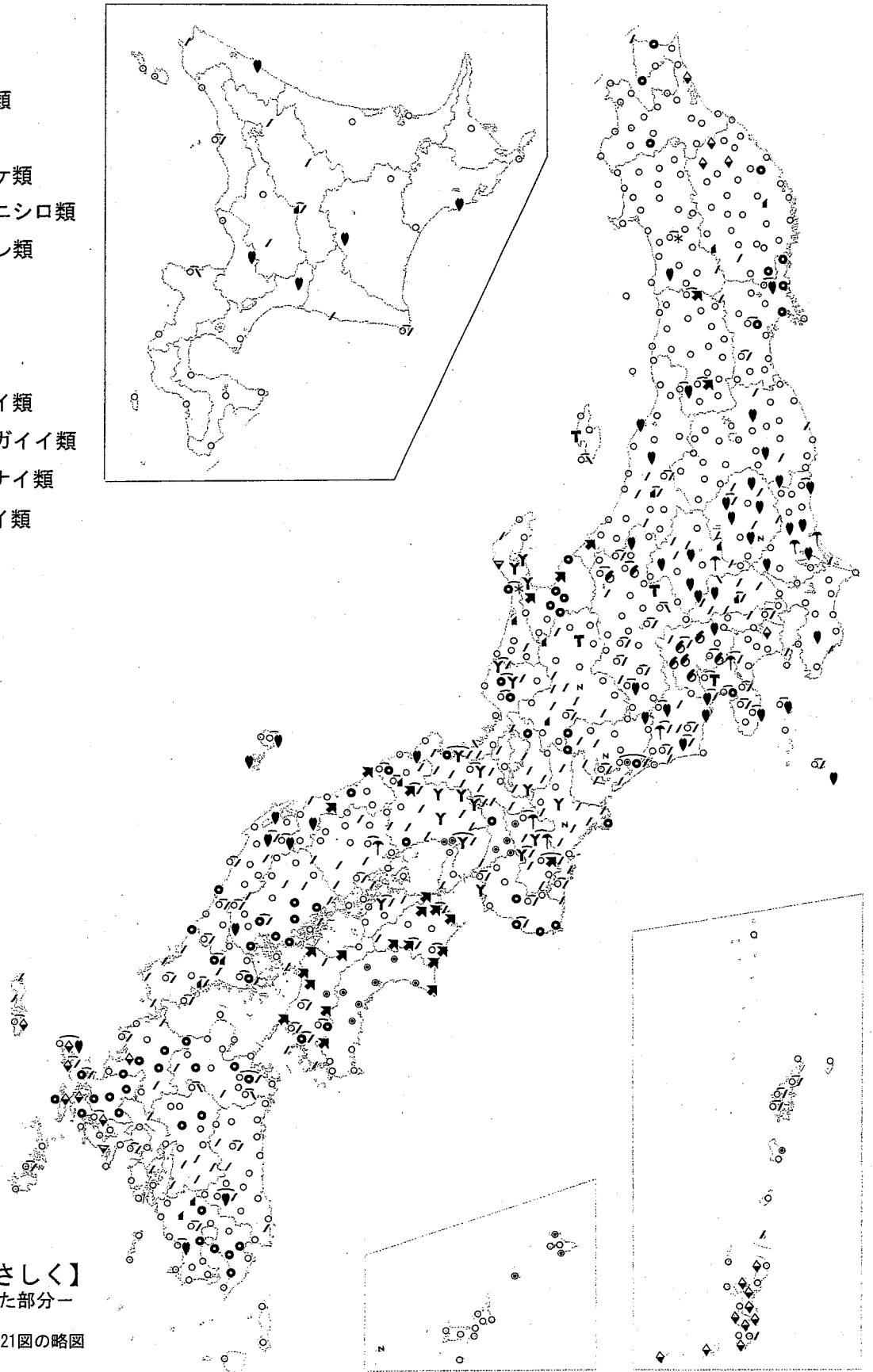


図5 行くな【やさしく】  
—終助詞を除いた部分—

『方言文法全国地図5』221図の略図

- イクナ類
- イキナ類
- ◉ イキナサンナ類
- ⊙ イッチョ類
- Υ イカナイデオケ類
- ⊞ イカナイヨーニシロ類
- ◇ イカナイ類
- ▽ イクマイ類
- ✱ イカレナイ類
- ▼ イクンジャンナイ類
- / イッテワイケナイ類
- ∖ イクトアブナイ類
- † ナゼイクンダ類
- ⊞ 無回答

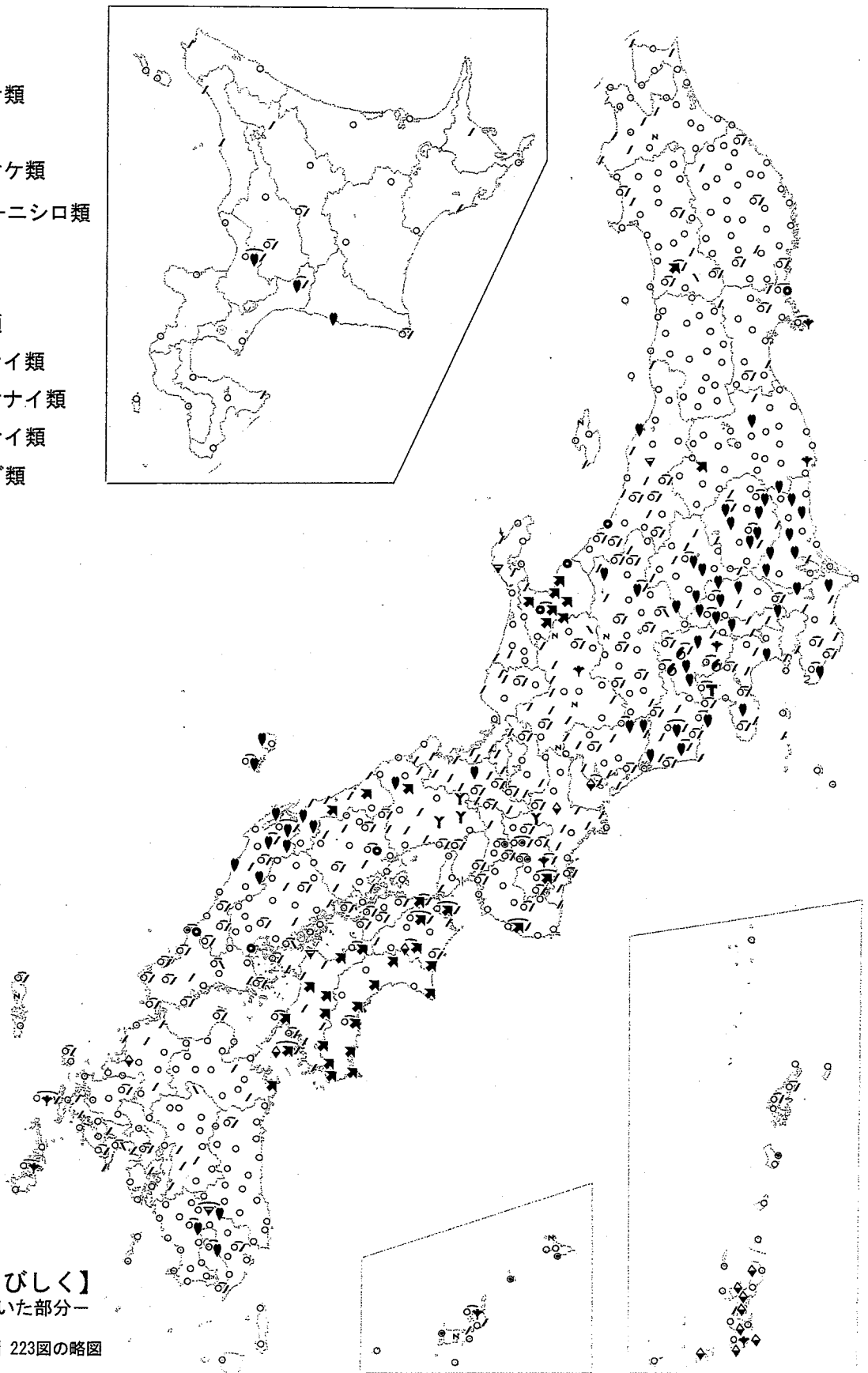


図6 行くな【きびしく】  
—終助詞を除いた部分—

『方言文法全国地図5』223図の略図

キナサイ ⇔ オキロ ⇔ オキヤガレ), 終助詞 (ex. オキロヨ ⇔ オキロ, オキロヨ ⇔ オキロ ッテバ, オキランカイ ⇔ オキランカ), その他 (ex. オキロ ⇔ オキレ) の側面に見られる (その組み合わせも)。このうちどの側面が関与的かについて地域差がある可能性がある。

また、同一の表現類型が (共通語を含め) 地域によって異なる発話態度を表すことがある。その理由については、ある表現類型 (例えば否定疑問形式) が「命令」という機能をもつメカニズムとともに、各方言の命令表現の体系の中で考える必要があるだろう。

### 3. 禁止表現の分布の概観 → 図5・6

## 4. 課題

### 4.1 音調

- ◆ 「語気を強める」「きつく言う」「声を荒げて」などの話者の意識
- ◆ 近畿方言の一段動詞の「命令形命令法」と「連用形命令法」 ex. オキ<sup>ー</sup>とオキ

### 4.2 各地方言の命令表現の体系

- ◆ 場面と、各形式の持つ「聞き手への働きかけ方」の意味の詳細
  - cf1. 富山県呉西地域方言の命令表現の代表形式 (瀧川 1997 より)  
オキ(一)マ, オキンカ(イ), オキョー, オキッシャイ, オキッシャンカ, オキラレ,  
オキラレンカ, オキマッシャイ (=「強要度」の高い順)
  - cf2. 大阪方言の「強い命令」「柔らかい命令」と文末助詞の後続した形 (村中 2001)  
ヨメ, ヨミ, ヨミヤ, ヨミーナ, ヨミーヤ, ヨミンカ, ヨマンカ, ヨマンカイナ,  
ヨマンカイヤ, ヨミヤガレ, ヨミサラセ, ヨミクサレ, ヨミナハレ, ヨミナサイ
- ◆ 命令文, 禁止文の種類 ex. 願望, 予防と制止

### 4.3 「命令」「禁止」の言語行動としての広がり

- ◆ 地図上への採用の範囲
  - ・長く複合的な回答
  - ・非言語行動

### 4.4 地域差の示すもの

#### 参考文献

- 安達太郎 2002 命令・依頼のモダリティ 宮崎和人他(編) モダリティ くろしお出版  
井上 優 1995 方言終助詞の意味分析—富山県砺波方言の「ヤ/マ」「チャ/ワ」— 国立国語研究所報告110 研究報告集16 秀英出版  
瀧川美穂 1997 富山県呉西地域における命令表現の体系 言語科学論集1  
村上三寿 1993 命令文—しろ, しなさい— 言語学研究会編 ことばの科学6 むぎ書房  
村中淑子 2001 大阪方言における命令表現について—臨地調査と文献資料比較— 徳島大学国語国文学14